

講演会「原発に頼らない社会を実現しよう」

9月5日美浜文化ホールで、環境活動家・田中優さんの講演を聞きました。

最近では、どのくらいの放射能が今現在福島原発から出ているのか、報道されないのが、随分少なくなったのかと思っていましたが、何と1時間当たり2億ベクレルも出続けているようで、びっくりしました。そして、10年間は爆発の恐れもあるそうです。

「世界は変わってしまったのだ」という事実をしっかり見つめて、出てしまった放射能をできる限り拡散させないよう全力を尽くさないと、日本中に汚染を広げてしまうことになる、と強く警告されました。

事故直後から、東電も政府もマスコミも事実を過小評価し、または隠し、危機管理もしていなかった事もあり、すべてが後手後手に回り、その結果成長の盛んな胎児や子ども達が、肉体的にも精神的にも、大変な負担を背負わされることになりました。

日本の電力会社は、発送電事業を独占することによって莫大な利益を得て、事実上、政財界もメディアも支配しています。この仕組みを変えなければ日本のエネルギー政策も変わらず、原発に頼り続けることになるでしょう。

総理大臣が変わったら前の総理が主張したことは“無し”になってしまうのでしょうか？民主党の原発政策が問われています。（磯辺 森山）



美浜文化ホールで

政治カフェ

9月17日の政治カフェは千葉市のこども未来局の方の「こどもカフェ」のお話でした。

千葉市では平成27年を境に人口が減少傾向になり超高齢社会が始まり、持続可能な社会への転換が余儀なくされます。これからのまちづくりのイメージとして子どもを産み育てたいと思うまち「ちば」の実現があります。その計画策定にあたって、子どもたちの意見に「信頼できる大人が居る身近な相談場所」が欲しいという希望がありました。そこからこどもカフェの実現に向けて、動いています。行政はきっかけづくりや人材確保をし、地域に根差したコミュニティの拠点をつくることを提案しています。

「こどもカフェ」の趣旨は1つに放課後の子どもの居場所としての遊びと学びの提供。2つに身近な信頼できる大人の相談相手の提供があります。運営主体は保護者や地域の大人等による市民団体が行います。

9月には試験的に高洲保健センター跡施設で、こどもカフェのワークショップが行われました。（幕西 秋山）

R357号湾岸千葉地区改良工事見学 ～9年の歳月と270億でできる1.1km～

10月12日「357号湾岸千葉地区改良工事」の見学に行きました。登戸交差点・市役所前交差点を含む区間は日平均6万台の交通量があり、朝夕の慢性的な渋滞が発生しています。また、交通量が多いため騒音被害や交通事故の多発地帯でもあります。

その解消のため、1.1kmの地下トンネルを通す工事が平成17年から始まっていて、すでに5年経っていますが完成は平成26年の予定で、総工費は270億円。この地帯は埋め立て地域のため地盤が弱く、地盤改良にかなりの年月が費やされ、工期も大幅に延長されたそうです。

地域に住む者としては、地域環境や歩行者および自転車の走行空間が整備されるのは歓迎しますが、千葉市負担が総工費中90億円と聞くと、そんなにこの区間の渋滞はひどかったかな～と首をひねるところもあります。



（幸町 関根）

数ヶ月前のことですが、お昼近くに美浜区役所に行ったとき、畑町のガーデンというパン屋さんがお店を開いていました。手作りのおいしいパンでした。

最近、各区役所、保健福祉センターなどで、障がい者の方々が働く授産施設の製品が売られています。施設の自立や一般の方々に親しみをもらうためにもとてもよい方法だと思います。**美浜区役所のロビーでの販売は下の表の通り**。保健福祉センターの2階にも常設の販売コーナーがあり、色んな作品を買うことができます。これからの季節ちょっとした贈り物にも向いた小物類などがあります。千葉市全体では39の施設が各区役所ロビーなどで製品を販売しているそうです。小さな作業所などでは自分のお店で売っただけで精いっぱいというところもあり、一概には言えませんが、もっと千葉市の各所でこうした製品が買えるようになってほしいと思います。（磯辺 岩橋）

施設名	販売内容		
	品目	回数(曜日)	時間
オリーブハウス	パウンドケーキ、クッキー、アイスクリーム、手工芸品等	月1回 (第4月曜日)	12:00～15:00
カフェバルコニーの家	ちらし寿司、和菓子、土壌改良材等	週1回 (水曜日)	11:00～15:00
くるみ	手作り品(エコタワシ、刺繍タオル等)	月1回 (第4月曜日)	10:30～11:30
でい・まさご	ピンストラップ、手芸品、木工製品	月1回 (第3木曜日)	14:00～15:00
畑町ガーデン	パン	週1回 (火曜日)	11:00～12:00

問い合わせは千葉市障害企画課 (043)245-5227
美浜区役所の販売については区役所の地域振興課043-270-3122

ふれあい市

地域活性化の一助になればと始めたふれあい市も5年目になりました。

(毎月第4土曜日・真砂中央ショッピングセンター)フリーマーケット・アジアの雑貨や衣料品、緑区産のとれたて新鮮野菜などの店を開いています。

みはまネットでは、フリーマーケット用の品物の寄付をお願いしています。

衣料品(新品か新品に近いもの)・食器類・本・雑貨など、みはまネット事務所にお持ちいただくか、ご連絡ください。

又、一区画100円で出店者も募集しています。

次回 11月26日(土)

10:00～14:00



親子食育サークルぽればれ 『ママのためのヨガ』

「ぽればれ」とはスワヒリ語で「ゆっくり、あせらず」という意味。親も子どもあせらずゆっくり育っていこうというサークルです。9/6(火)のぽればれは、「ママのためのヨガ」毎日、家事・育児に頑張っているママに、自分の体を少し解放してリラックスしてもらえたら・・・と、講師に榎尾さんをお招きして行っている毎年恒例の企画。今回も参加者14名、託児7名、と沢山の参加をいただきました。日頃なかなか自分のメンテナンスに時間をとれないママ達も、ヨガで呼吸を整え、自分の体の声を聴いて、気持ちを落ち着かせる・・・ほんの90分、されど90分！ヨガの後のママたちのすっきりした表情が印象的でした♪

●次回のお知らせ

クリスマス会～人形劇団なんだろな公演～

日時：12月3日(土) 13:30～15:30

場所：ベイマークの集会室もしくは
稲毛海岸駅前プラザ集会室
(高洲コミュニティセンター向い団地)

先着：親子30組程度

参加費：500円(お菓子付)【子ども2人の場合700円】

